

環境共生住宅

大和ハウスグループの推進する 戦略的環境活動

◆はじめに

大和ハウスグループは、2011年、住宅や建築物のライフサイクルにおける「環境負荷ゼロ」に挑戦する「環境中長期ビジョン2020」を策定し、グループ一丸となって取り組みを進めています。

また、2013年11月には「エンドレスグリーンプログラム 2015」を策定。住宅・建築、街づくりでの環境配慮など、事業戦略と一体化して推進する戦略的環境活動を重視し、新たに具体的な目標を設定し、取り組みを加速させています。

さらに、地球温暖化防止や生物多様性保全など、社会的責任を果たす



家庭用リチウムイオン蓄電池

基本的環境活動にも継続して取り組み、「環境と企業収益の両立」を目指しています。

あわせて、環境経営の対象範囲を海外、取引先に拡大するとともに、全従業員の環境経営への参画意識の向上を図るなど、環境経営の基盤強化にも取り組んでいます。

◆エンドレスグリーンプログラム2015での住宅・街づくり「SMART&H」の推進

●住宅における

次世代環境配慮商品の開発

戸建住宅事業では、2020年までに環境負荷「0（ゼロ）」（CO₂排出量をゼロ、光熱費をゼロ）となるエネルギー自給住宅に進化させるためのプロジェクト「Smart x vivo Eco Project（スマート・ジヴオ・エコ・プロジェクト）」を加速させ、HEMS※1の機能強化・標準搭載など、生活者視点でのスマートハウス開発を進めています。

また、大和ハウス工業はこれまでスマートハウスを累計4,200棟以上※2販売しており、その実績を踏まえ、販売する全ての戸建住宅に



HEMS使用イメージ

HEMS、太陽光発電システムを標準搭載しています。それにあわせて、当社スマートハウスのブランドを「SMA Eco」として展開し、お客さま満足の向上とスマートハウスのシェア拡大を図っています。

※1. ホーム・エネルギー・マネジメント・システム。
※2. 2014年3月末現在。

●スマートシティへの取り組みを全国で加速

分譲戸建住宅を中心に、街区全体でエネルギーの効率利用を実現する開発を全国で推進しています。また、事業横断・グループ連携による先進的な複合型街づくりを通じて省

CO₂先導プロジェクトの創出を目指しています。

「SMA×ECO PROJECT」UNSW

「SMA×ECO PROJECT（スマ・エコプロジェクト）」は、大和ハウス工業が2011年10月に開始した、エネルギー自給自足を目指すための街全体でのプロジェクトです。「SMA×ECO PROJECT」の第1弾として、2013年6月にまらびらきをした「SMA×ECOTOWN（スマ・エコタウン）晴美台」は、65区画全ての住戸に家庭用リチウムイオン蓄電池（6.2kWh）や当社オリジナルのエネルギーマネジメントシステム「DHEMS II（ディー・ヘムスツー）」、太陽光発電システムを搭載するとともに、街全体のエネルギーの見える化や集合場の屋根や地下式の調整池上にも太陽光発電システムを設置したパーフェクトスマートタウンです。

また、大和ハウス工業は「スマ・エコシティ吉川美南」や「スマ・エコシティ相模原光ヶ丘エコタウン」なども展開し、エネルギーを自給自足できる街づくりを目指してい



ます。

◆環境共生住宅

7年連続ナンパーワン

大和ハウス工業では、「環境共生住宅^{※3}」を低炭素社会とサステイナブル社会を先導する住宅として位置づけ、自然環境との共生を図る「自然と調和した街づくり」を進めるなかで、その進捗を測る指標として環境共生住宅認定の実績数を活用してきました。

そして、平成25年度「環境共生住宅認定」において、建設実績総合1位（1,140戸）を達成しました。これにより、平成16年、17年度、19年度、20年度、21年度、22年度、23年度、24年度と合わせて9回目で、7年連続での1位となります。

今年度は、分譲戸建住宅の全てが「環境共生住宅認定」となるよう一層の普及を目指して取り組んでいます。

※3. 人と住まいをとりまく「環境」より良いものにしていくために、「地球環境を保全する」「周辺環境に親しむ」「健康で快適な居住環境」という3つの考え方に基いた住まいづくりのことで、一般社団法人建築環境・省エネルギー機構が認定するもの。